夢はでっかく　根は深く

「学校長だより　No　1」

平成28年4月14日　倉敷市立柳井原小学校

新しい春。平成２８年度が始まりもう１週間がたちました。チューリップやパンジーが色とりどりに咲き，子どもたちの進級を祝っています。進級の喜びと自覚を胸に、子どもたちは元気で学校生活を送っています。本年度は，中島小学校から転校してきた，○○　○○さんと，６名の新１年生を仲間に，２６名でのスタートになります。

こんにちは，校長の畑中　英史です。「夢はでっかく根は深く（学校長だより）」を不定期に発行します。保護者の皆様や地域の方に子どもたちの元気な様子をお伝えしたいと考えています。どうぞ，よろしくお願いいたします。

４月７日始業式。６年生の代表が歓迎の言葉を，２年生，４年生，６年生の代表が新学年のめあてを堂々と発表しました。

ご入学おめでとうございます

１１日（月）に入学式があり，６名の１年生が入学しました。　**「柳井原小学校へようこそ！」**

１年生担任の畠中先生が名前を呼ぶと，少し緊張しながらも，みんな大きな声で返事をすることができました。１年生の皆さん。柳井原小学校は，人数は少ないですが，上級生はとっても優しいです。何でも教えてくれますよ。

児童代表で，６年生の代表が「お迎えの言葉」を言いました。一人一人の名前を覚え，語りかけるようにお話ができていたのに感心しました。２年生以上の人は，「おめでとう」の歌で歓迎の気もちを表現しました。全校で２６名。でも，みんなが兄弟姉妹のような学校です。１年生の皆さんが，毎日元気に登校して，明るい笑顔で過ごすことができるように，みんなが見守っています。

始業式から

「おはようございます。」児童玄関から聞えるさわやかな声。その声に触発され，着任式の前なのに，玄関で子ども達とあいさつを交わすことになりました。倉元校長先生を始め今までの先生方のもと，また，保護者や地域の皆さんの支えの中で，気持ちのよいあいさつができる児童が育っているのを感じました。

始業式には**「友達や家族，まわりの人たちにやさしい子どもであって欲しい。」**という願いを込めてお話をしました。

「目が覚めるとそこは『地獄』　煮立った大きな釜と，そのふちの上に，やせ細った人たちがいました。その時，すうっと，長い長い柄の『ひしゃく』が下りてきました。そのひしゃくで，中の食べ物をすくって食べることができるわけです。・・・一番力の強いものが，ひしゃくを奪い取り，それで食べ物を食べようとしました。ところが，柄の部分が長すぎて，口にもってくることができません。それならばと，短く柄を持とうとすると，柄の部分が熱すぎて持つことができません。そうしているうちに・・・『次はわしじゃ』『はよう代われ』と大喧嘩。叫ぶ声，阿鼻叫喚・・・やがて，その人は，気絶してしまいました。

どれだけ時間がたったでしょう。目を覚ますと，また煮えたぎった大きな釜がありました。目線を上に移すと，釜の上にいる人々の様子が違います。みんな微笑んでいるのです。同じように，すっと，長い長い柄のひしゃくが下りてきました。　『またあの光景が・・・』　ところが，ひしゃくの使い方が違いました。一人の人が，ひしゃくで食べ物をすくうと，食べ物の部分を，隣の人の口に。すくった自分は食べようとせずに，隣の人が食べるために，自分がすくうわけです。・・・そして，順番に，代わりばんこに・・・・みんなが，おなかいっぱい食べることができました。そこは，『天国』だったわけです。

自分も大切ですが，同じように友達やお家の人のことを思って，やさしくしたり感謝したりする人であって欲しいと思います。」